

神楽のユネスコ登録に向けた動きについて

令和7年4月17日
文 化 財 課

神楽の世界的な文化的価値を向上させ、次世代への保存・継承に向けた機運を高めることで、地域の活性化をはかるために、ユネスコ無形文化遺産への登録を目指す。

1 これまでの取組

- ・ 令和4年 「全国神楽継承・振興協議会」（以下、協議会）設立
会 長：高千穂神社宮司 後藤俊彦氏
加入状況：国指定神楽40のうち、39神楽が加入（R7.3現在）
- ・ 協議会及び知事による国への要望活動
- ・ 会報発行やホームページ開設、イベント開催等による情報発信

2 新たな動きと今後の取組

- ・ 3月24日「神楽継承・振興知事連合」（以下、知事連合）設立
参画状況：24道県（R7.3現在）
- ・ 今後、協議会と知事連合とが協力し、ユネスコ登録への機運醸成や国への要望活動を強化

3 その他

- ・ 令和7年3月末 日本からユネスコへ「書道」を再提案
→ 令和8年11～12月に登録決定の見込み
- ・ 「神楽」の最短スケジュール（想定）
令和7年度 提案候補選定 → 7年度末ユネスコへ提案
令和10年度 登録（見込み）